

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	ものづくりの里レボリューション事業
対象地域	奈良県吉野郡吉野町国栖地域
対象地域の概要	    【過疎化が進む窪垣内・南大野地区】 【割り箸の出荷が激減した新子地区】
提案内容の概要	ものづくりの他、<u>地域資源発掘</u>で伝統文化や民話等を再発見・整理しガイドブックを作成する。また他の地域の人との交流を深め、<u>歴史ウォーク</u>を実施でリピーターを増やしサポーターの育成につなげる。また、「ものづくり力」を活かし「里あかり」の実施検討と吉野山と連携で「宿泊」と「ものづくり」のモニターを実施する。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	当地区内では、割り箸製造や和紙製造など殆どが家内工業的な職種であり、かつ割り箸や和紙は輸入品や洋紙などの影響で生産高も減少の一途を辿っているため、後継者も限定的で雇用先を求め、若者が流出して定住させることは困難となっており、その結果従業者も高齢化している。また地域の人口も最盛期には、3,213人であったが現在では1,223人と1/3に大幅に減少している現状の中でいかに活性化を図っていくかが最大の課題となっている。 地域住民に観光協会の活動が割り箸や和紙をはじめとする「ものづくり」という媒体を通じて活性化を図っていることを理解してもらい、国栖人（くずびと）である誇りを取り戻し地域の愛着を深め、伝統文化を守り伝えていく心をそだてていく必要がある。
(2) 活動内容の案	活動①：歴史・文化の発掘とコミュニティ創生 内容： 吉野路の歴史を語るうえで、国栖地区を除いては語れないにもかかわらず、地区の歴史を学ぶ手段がないため、地域住民に認識を深めるガイドブックを作成し、各戸に配布する。 作成にあたっては、地区の歴史「神社仏閣の由来」「昔話・民話・逸話」「伝統文化」をお年寄りなどから調査・ヒアリングし、地域で語り継がれていた昔話や四季折々の伝統行事を次世代に伝えるべく、掘り下げた内容のものとする。 これを来訪者や観光協会等へ問い合わせがあった場合の案内資料として活用することで、きめ細かく国栖の良さをアピールするとともに、調査結果をホームページに掲載し、「歴史」「文化」「ものづくり」の里を、より広範囲に広報する。

また、調査やヒアリングを経ることにより、地域住民間の意思の疎通や来訪者への案内ができるため、相互のコミュニケーションも図れる。

○ガイドブックの配布先

- ・ 当年に実施するイベント等で配布
- ・ 地域内の各戸
- ・ 町内の公共施設
- ・ 近隣町村その他関係先および来訪者案内用

○ガイドブックと同内容をホームページに掲載

活動②：ものづくりを通じた滞在型モニターの実施

内容：

昨年、夏休み期間中に12日間実施して全体で約350名の参加があり、11月に本事業で実施したイベントで集客数250名、体験者約90名であったが、地元の関心度が低かった反省を踏まえ、本年度は、地域の人も対象に入れて実施する。地域内で交流の場が少なくなった現在、ものづくりの各工房が媒体となり、地域の交流の場として今回の体験を国栖地区内の方に限って無料で招待とすることで地元の参加者を促進するとともに、地区外の方との交流も深めるチャンスを作る。

また、当地区には宿泊施設がないために近隣（吉野山等）の宿泊施設と連携するとともに昨年度調査した空き家の活用や吉野町の「空き家バンク」との協働で宿泊型・滞在型「ものづくり体験」をモニターで検証する。

※ 実施時期 ものづくり体験フェスタ 7月下旬（約10日間）

宿泊モニター 9月上旬

※ 体験分野 和紙、ガラス工芸、サンドブラスト、割箸、陶芸、木工

活動③：ウォーキングコースの活用

内容：

20年度に調査したウォーキングコースを活用して、歴史の専門家を招いて国栖の歴史について説明を受けながら散策する。

コース沿いに点在するものづくり体験ができる工房を活用して「歴史」と「ものづくり」を融合させ、同時開催として、近年薄れつつある「ふるさとの味」を見直すために国栖に伝わる郷土料理を地元老人会等の協力を得て再現する。ウォーキングの際には、来訪者へのアンケート調査を実施し、今後国栖地区の特産品開発の資料とする。また、今年度作成するガイドブックを配布してより記憶に残る国栖をアピールしてリピーターづくりの一環とする。

○実施日 11月中旬

○後援 吉野町・地元区長会等

○同時開催 ・地元老人会等の協力を得て郷土料理の試食

・アンケートの実施

○その他 チラシ、案内板等作成

活動④：国栖の素材を生かした「灯り」の調査研究

内容：

当地の自然の素材（和紙・箸・ガラス・陶芸・木工）には多種多様な活用方法がありそれにもものづくりの特性を活かした素材の素朴さに一工夫加えて、他にはない国栖の山里にふさわしい特有の癒しの灯りを次年度からの実施に向けて創出するため、「里灯り」（仮称）に関して検証する。この検証には、地元の知識だけでは固定概念に囚われ易いために昨年登録したサポーターと連携して外部の斬新的アイデアも取り入れる。

○ 後援 吉野町、吉野町商工会

○ 協働 イナカデザイン研究会（大阪芸大）・本年度の新規サポーター

応募団体名

国栖の里観光協会

リ ン ク	http://www.kuzunosato.jp
部 局 ／ 担 当 者 名	副会長 吉田昌行
連 絡 先	TEL／FAX 0746-36-9860 Mail info@kuzunosato.jp
推 薦 市 町 村 名	奈良県吉野郡吉野町